

令和4年度
事業報告

社会福祉法人 南野育成園

一. 令和4年度 事業計画についての反省と課題

はじめに

令和4年は、新型コロナウイルス感染症によるクラスター感染が3度発生するなど、長期間にわたる行動制限を強いられた。しかし、子どもたちの意見・要望を取り入れながら、海水浴や登山、スキーなどたくさん楽しい行事を実施することができた。

また、昨年度より計画を進めていた、芳賀地区での地域小規模児童養護施設の建設は近隣住民の反対が根強く、断念したことは残念であったが、子どもたちが安心して安全に生活できる候補地を粘り強く探していきたい。

そして、人材の確保については大学教員からの紹介やインターネット上のブログ効果もあり、5名の学生を採用できた。だが、ここ数年は新卒中心の採用であったことから育児をしながら働きたいという職員のニーズが出てきており、いろんな働き方ができるように勤務体制も検討していきたい。

以下、事業計画の反省と課題は、令和4年度を振りかえった職員アンケートの中から抜粋したものである。

1 運営目標

- ・ 大人目線で考えがちになるので、子どもの想いを受け止め、何が最善の利益か意識しながら支援していきたい。
- ・ 調理実習や一緒に食事する機会等が少ない中、ホールに入って調理するという新しい取り組みができたので継続したい。(栄養士より)
- ・ 習い事など様々なことにチャレンジできるようになってきているので、子どもたちの可能性を信じ応援していきたい。

2 重点項目

① 社会的養育の推進にむけて

- ・ 地域小規模児童養護施設について、新たに開設する難しさを実感した。他施設の取り組みを具体的に聞くことが参考になった。
- ・ 地域小規模ありきではなく、地域の状況を踏まえて焦らずに進めていければよい。
- ・ 障害のある子どもに必要な支援を、生活の中に反映していくことが難しかった。

② 子どもの権利擁護

- ・ 子どもの「考える」を尊重するようにしたが、大人が良いと思う方向に誘導してしまうこともあった。子どもが理解できるようにもう少し説明すればよかった。
- ・ 子どもの言動に裏切られることもあるが、決めつけず信じることで子どもは変わると思った。
- ・ 行事に参加できなかった子どもが、今年度は参加できるようになり、経験を積むことができてよかった。

③ 自立に向けた支援

- ・ 自然に手伝いをするとか、返事をきちんとすることなど、「素晴らしいことだよ」とタイムリーに伝えることができた。
- ・ 人として大切なことをもっと伝えられる職員でありたいと思った。
- ・ 自立支援担当職員が配置されたことで、相談しやすくなり心強い存在だと思った。

④ 保護者・里親への支援

- ・退園した子どもの保護者と信頼関係を保つことは改めて難しいと思った。
- ・クレーマー親対応では、上手く切り替える術を身に付けていきたい。
- ・家庭支援や里親支援など専門相談員が関係機関との調整を担ってくれて助かった。

⑤ 人材の確保と育成

- ・人事評価制度がだいぶ浸透してきたと思う。人材育成につなげていきたい。
- ・特に、入社後3年間の研修を充実させることによりバーンアウトを防ぐ。
- ・実習生は将来の職員という思いで指導する。

⑥ 地域支援機能の充実

- ・職員が手薄な中で、地域とかかわる取り組みは厳しい。
- ・登下校時に小学生は良い挨拶ができていますのでしっかり褒めることができた。
- ・園の子どもたちをみて不思議がる人がいる。地域への働きかけが必要だ。

3 児童グループ・職員組織構成

- ・現状のグループ編成が小規模的運営で連携もとりやすい。
- ・各グループ3人体制になれば、子どもとの活動に幅と余裕ができる。
- ・職員は言い訳をせずにできていないことは素直に認め、広い視野を持ってほしい。

4 日課・週予定・月予定・年間行事

- ・ゆったり楽しくグループ毎に動けており、時々全体行事があるぐらいでよい。
- ・コロナ禍であったが、子どもたちと考え工夫して、できることが増えて楽しかった。
- ・お茶会を復活させてほしい。日本の良き文化であり作法も身に着くと思う。

5 職務分掌

- ・職務を固定せず、若い人に任せることで新たな気づきとなるよう成長の機会とする。
- ・先輩職員は、後輩職員に引き継ぐことを意識して一緒に取り組む。
- ・ブログ投稿は大変な時もあるが、多くの人に見てもらうことを励みに頑張りたい。

6 勤務時間

- ・コロナ対応など、周りの協力を得ながらチームワークよく柔軟な対応ができた。
- ・連携ミスや引継ぎ漏れを無くさない通勤交代制への移行は無理と思う。
- ・勤務形態も充実し、手当も手厚くなった。

7 さつき会（親睦会）

- ・行事ができなかった分、金券で還元してもらい有難かった。
- ・住み込みの職員さんたちが楽しめることがあったらいい。

8 その他

- ・南野をよくしていくためには、周囲の意見を聴き、しっかりと自分の意見を出す。
- ・指揮命令系統は整ってきたが、主任・リーダー職の判断力が反映されるような体制づくりが望まれる。
- ・ミーティング、フロア会議、職員会議などの時間が長い。もっと要点をまとめて話し、同じ話の繰り返しも避けるべき、長ければ妙案や解決策が出るわけではない。

二. 評議員・役員・職員の異動および充足状況

1. 評議員・役員・職員の状況

定数 評議員 7名
理事 6名
監事 2名
評議員選任・解任委員 3名

	男	女	合計
評議員	6	1	7
理事	5	1	6
監事	1	1	2
合計	12	3	15

※令和5年3月31日現在

2. 職員の就職者・退職者状況

① 就職 令和4年4月1日 主任栄養士

② 退職 令和5年3月31日 保育士
令和5年3月31日 児童指導員

三. 評議員会・理事会等開催状況

【評議員会】

第1回 定時評議員会 令和4年6月17日（金）10:25 ～ 11:25 南野育成園 大ホール
議 題

- (1) 令和3年度事業報告
- (2) 令和3年度計算書類・財産目録の承認

【理事会】

第1回理事会 令和4年6月2日（木）10:30 ～ 11:30 南野育成園 大ホール
議 題

決議事項

- (1) 令和3年度事業報告
- (2) 令和3年度決算報告（本部・施設）
- (3) 監査報告について
- (4) 給与退職金規定の一部改正について
- (5) 令和4年度定時評議員会の開催について

報告事項

理事長による職務執行状況の報告
機能強化推進10ヵ年計画について

第2回理事会 令和5年3月23日（木）10:30 ～ 11:30 南野育成園 大ホール
議 題

決議事項

- (1) 令和4年度第1次補正予算について
- (2) 令和5年度事業計画について
- (3) 令和5年度予算について
- (4) 就業規則の一部改正について

報告事項

理事長による職務執行状況の報告

【評議員選任・解任委員会】

なし

四. 登 記

令和 4年 6月 17日 法務局にて資産の変更登記

五. 届 出

令和 4年 4月 1日 岡山労働基準監督署へ給与控除に関する協定書
令和 4年 6月 3日 岡山労働基準監督署へ就業規則の変更に関する届
令和 5年 3月 29日 岡山労働基準監督署へ就業規則の変更に関する届
令和 5年 3月 29日 岡山労働基準監督署へ時間外及び休日労働に関する協定書

六. 統計資料

1. 児童の状況 (定員 57 名 : 本園・女子ホーム 51 名 南野ホーム 6 名)

	初日在籍数				入所児	退所児	月末 在籍数	備考
	1・2歳	年少	小・中・高	計				
4月	1	7	37	45	3	1	45	
5月	1	7	37	45	0	0	45	
6月	1	7	37	45	1	0	46	
7月	2	8	37	47	1	0	47	
8月	2	8	37	47	2	0	49	
9月	2	8	39	49	0	0	49	
10月	2	8	39	49	0	0	49	
11月	2	8	39	49	0	0	49	
12月	2	8	39	49	0	0	49	
1月	2	8	39	49	0	0	49	
2月	2	8	40	50	1	1	49	
3月	1	8	40	49	3	8	44	
合計	20	93	460	573	11	10	570	
月平均				47.8	0.92	0.83	47.5	

※定員に対する入所率 : 令和 4 年度 83.9%

(令和 3 年度 80.8%、令和 2 年度 79.4%、元年度 88.5%、平成 30 年度 86.8%)

2. 新規入所児童の状況

入所理由	男	女	計
被虐待	7	1	8
措置変更	2	0	2
その他	0	1	1
合計	9	2	11

3. 退所児童の状況

退所理由	男	女	計
家庭引き取り	3	3	6
就職	1	0	1
進学	0	1	1
措置変更	0	0	0
里親委託	1	1	2
合計	5	5	10

七. 苦情解決

苦情受付件数 0 件

令和4年度 事業報告の附属明細書

特になし